



# 2016年 クイーン倶楽部だより 6月号 第160号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
URL <http://www.eco-rice.jp/>  
E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)

熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます

この度の地震により被害にあわれました皆様に、心からお見舞い申し上げます。  
被災地域の安全の確保と、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



苗のない田植え。一見田植えしているようには見えませんが、しっかりと種籾が田んぼに蒔かれています。

## 今年も田植えが始まりました

### 苗を植えない“田植え”?!

今年も無事に田植えの時期を迎え、エコ・ライス周辺の田んぼも少しずつ苗の緑色が目立つようになってきました。  
今年、阿部信行さんが挑戦するのは、苗を作らずに種もみを直接田んぼにまく方法。作業が集中する春に、少しでも手間を省くため飼料用米で挑戦しました。  
種籾にカルパーコーティングという生育を助ける酸素発生剤をコーティングし、田んぼにまいていきます。  
農業の技術は日々進歩しています。新しい技術を積極的に取り入れてさらに美味しいお米が作れるよう研究していきます！



- 1 コーティングされた籾は真っ白。
- 2 田植え機に取り付けた直播専用の機具。
- 3 田んぼに蒔かれた真っ白な種籾。  
普通に田植えした稲より、7~10日程生育が遅くなります。



中村 信也 (なかむらのぶや)  
医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

## ドクター “N” の 私にも一言言わせて

その 14

※ドクター…英語で博士の意味

### 職業政治家排除論

最近、市町村議会の不要論、土日夜間議会開催論などが湧きあがっています。いずれも給与と人員削減、議員特権排除などが共通しています。号泣市会議員、観光的海外視察、利権工事など私権にどっぷりの職業政治家が目立ってきたためといえるでしょう。職業政治家とは政治を商売とする者をいいます。

中南米でも議員の世襲化と腐敗が渦巻き、一般市民が糾弾しようとする命が危ないということでも市民は沈黙を守らざるを得ない、が珍しくありません。日本では声高に叫んでも全く安全ですが、利権漁り技術が巧妙で表ざたになりません。舐み毒都知事がその典型であり、掘り返せば特権乱用がいくらでも出てきます。

日本での議員問題は「高給と特権」にあります。議員の給料は、表向きにはやや高めですが、種々の手当があり、結局は議員一人当たりのコストが非常に高くなっています。これでは議員の仕事をしなないとすると給料泥棒です。議員の仕事とは三権分立中の「立法」です。国会議員は法律と予算を、地方議員は条例と予算を作ることです。市町村議員が条例に毎日朝から夕方まで時間を費やすことは滅多にありません。多忙であるのは、選挙集めのための私事が多過ぎるのです。

私は英国に数十年前に留学していましたが、当時市議会は夜に開催され、ボランティア感覚で議員は参加しているのを新聞記事で知りました。記事はある議員のボランティア性を讚える記事でした。それを読んで市町村議員は週一回夜に開催し、弁当と日当ができれば十分と確信してきました。

最近日本でも土日議会を推進する会をフェイスブックで見つけましたし、職業政治家反対論を掲げる東京都の参議院選挙候補者も現れて職業政治家不要論の声が高まりつつあります。もっと声が広がれば青空さわやかな日本がやって来そうと思つのは幻想でしょうか。